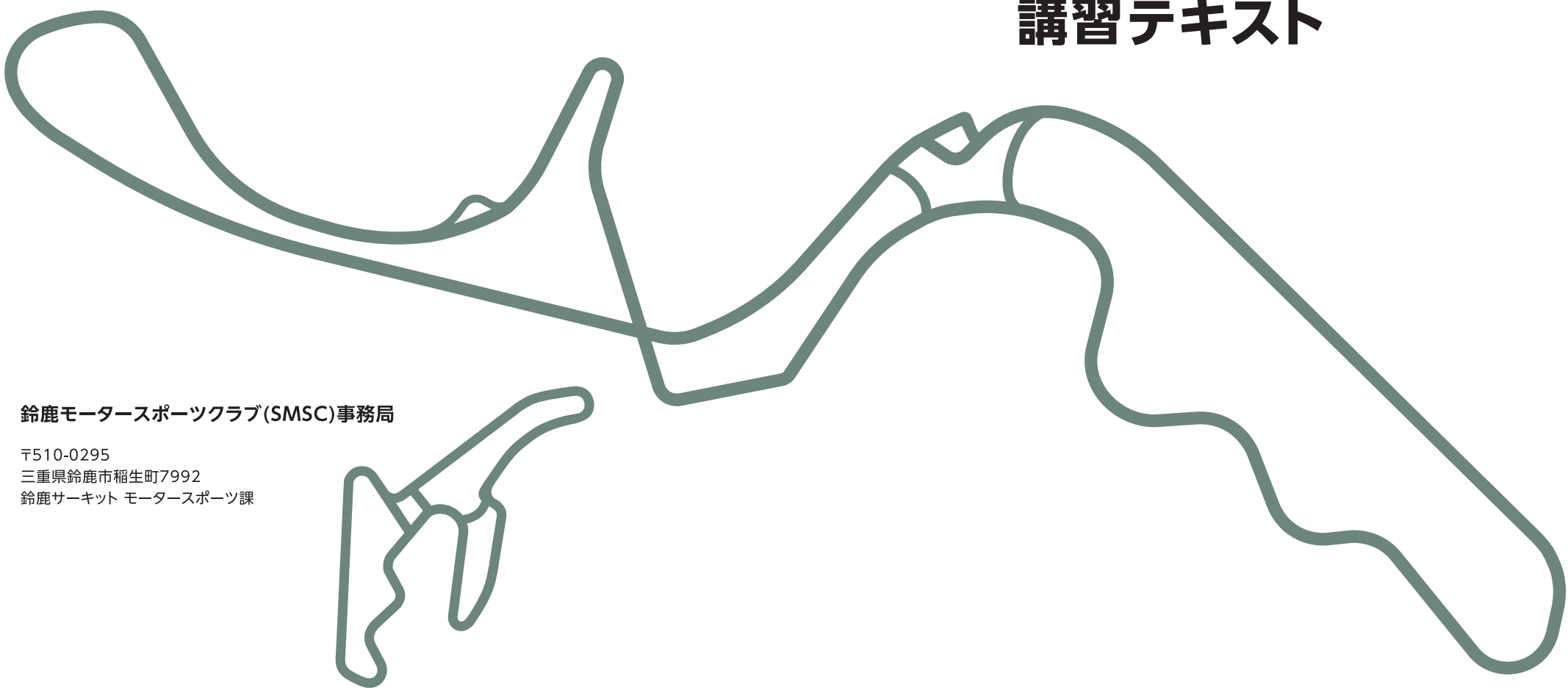




鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)

講習テキスト



鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)事務局

〒510-0295
三重県鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキット モータースポーツ課

目次

鈴鹿サーキット レーシングコース	… 1
鈴鹿サーキット 南コース	… 3
ライセンス区分について	… 4
スポーツ走行クラス区分	… 5
走行者の装備・走行車両規定	… 8
コースイン・ピットインのルール	… 18
フラッグ規定・ライトパネル・表示板	… 26
サーキットでのルールとマナー	… 33
その他	… 34
モータースポーツゲートのオープン時間	… 34
2輪スポーツ走行時のビブス着用ルール	… 35

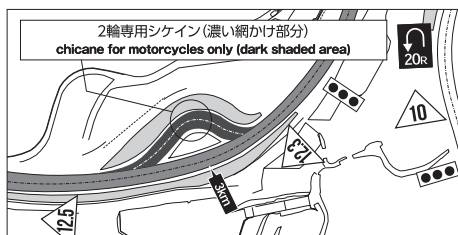
鈴鹿サーキット レーシングコース

● イメージのため、形状・寸法など実際とは異なる場合があります。 October 2023 ©Honda Mobilityland Corporation All Rights Reserved.

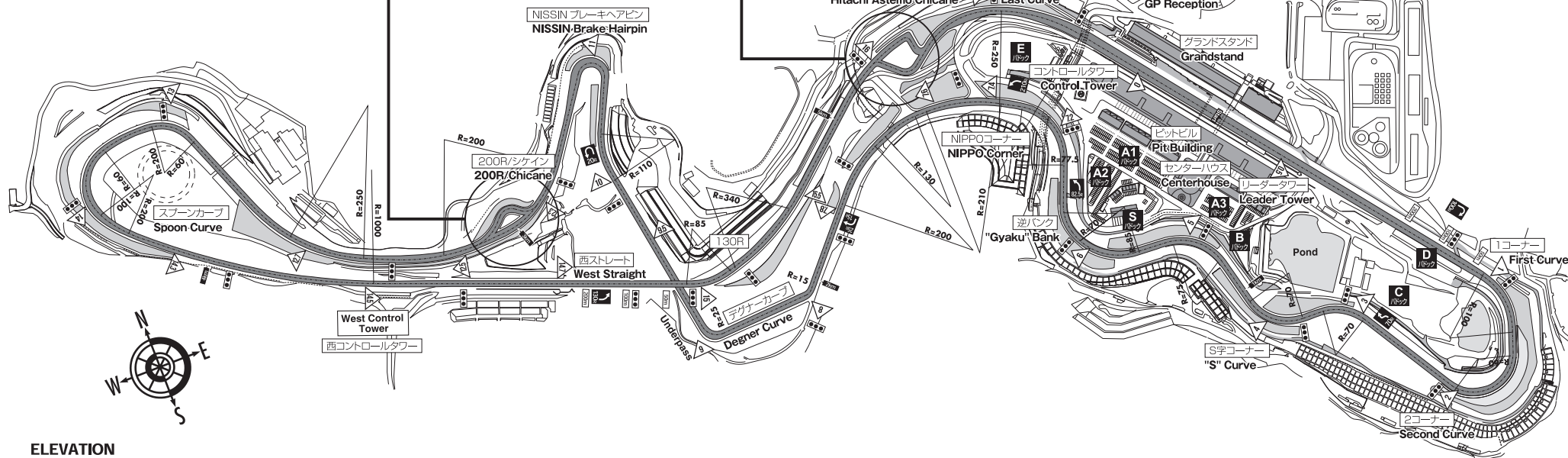
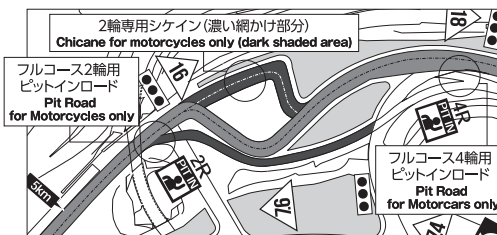
■ 鈴鹿サーキット レーシングコース データ

完成：1962年
 コース長：フルコース 5,821km(2輪) 5,807km(4輪)
 コース幅：10~16m
 コーナー数：18(右コーナー 10、左コーナー 8)
 西コース 3,483km(2輪) 3,475km(4輪) ※コース路面舗装：東コース 2009年
 東コース 2,243km ※コース路面舗装：西コース 2012年
 メインストレート 約800m 西ストレート 約1000m

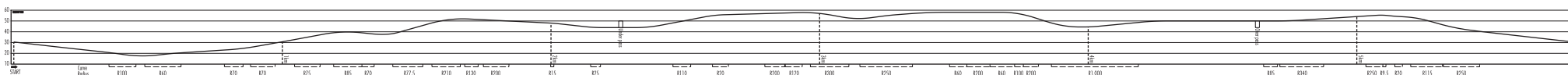
NISSINブレーキヘアピンから200R/シケイン



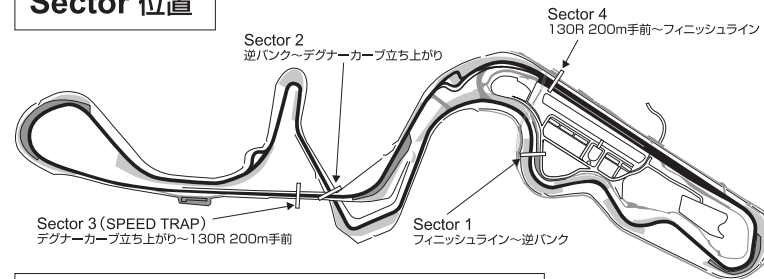
日立Astemoシケイン



ELEVATION



Sector 位置



区間1 (Sector 1) 1,658m 区間2 (Sector 2) 936m
 区間3 (Sector 3) 2,130m 区間4 (Sector 4) 1,084m

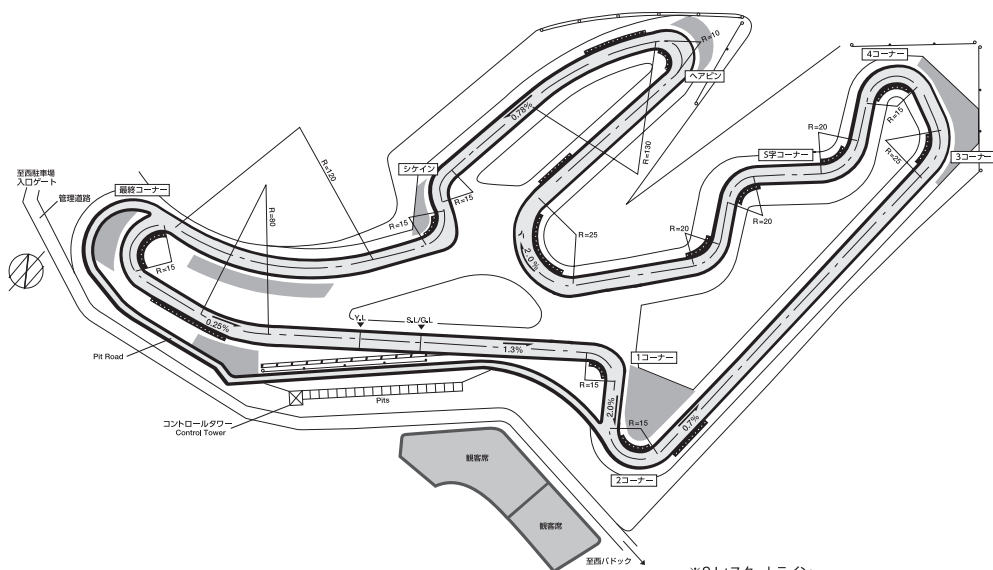
※区間3、4は4輪コースの距離となります。

鈴鹿サーキット 南コース

● イメージのため、形状・寸法など実際とは異なる場合があります。 April 2022 ©Honda Mobilityland Corporation All Rights Reserved.

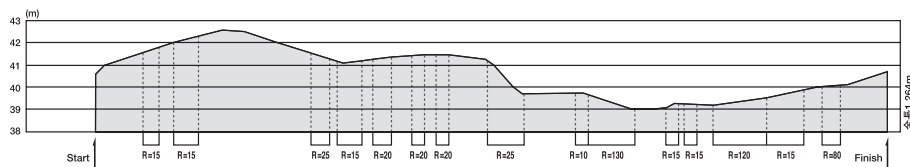
■ 鈴鹿サーキット 南コース データ

コース全長：1,264.58km	第2直線長：157m	ピット数：20棟
コース幅員：10m	最小曲線半径：10m	ピットロード全長：330m
最大直線長：190m	ピットロード幅：5m	コース舗装：特殊アスファルト舗装



※S.L:スタートライン
G.L:ゴールライン
Y.L:イエローライン
(スタートラインの25m手前に引かれており、スタートの際、このライン通過まで加速してはいけない)

ELEVATION



》ライセンス区分について

SMSCライセンスは「レーシングコースライセンス」と「南コースライセンス」があり、2輪・4輪それぞれ「レース専用車両クラス」と「ナンバー付車両クラス」に分かれています。

【レーシングコース スポーツ走行クラス】

	レース専用車両クラス	ナンバー付車両クラス
2輪	①2R(2B・2S)	③ライドオンクラブ(ROC)
4輪	②4R(4S・FS)	④チャレンジクラブ(CC)

① 2R(2B・2S)

レース専用2輪車クラス。車両の排気量により2B(2輪ビッグ)クラスと2S(2輪スモール)クラスの2種類のクラス区分があり、それぞれ基準タイムにより下記のとおり①②グループに分かれます。

●クラス/車両(各コース1周のドライ路面での参考基準タイム) ※2021年4月17日より

クラス	フルコース	東コース	西コース	車両
2B①	2分22秒未満	57秒未満	1分29秒未満	単気筒・2気筒は750cc以上、 3気筒以上は400cc以上
2B②	2分22秒以上	57秒以上	1分29秒以上	
2S①	2分41秒未満	61秒未満	1分39秒未満	単気筒・2気筒は750cc未満、 3気筒以上は400cc未満
2S②	2分41秒以上	61秒以上	1分39秒以上	

※各クラス 2B①、2S① での慣らし走行はできません。(慣らし走行は、2B②、2S②のみ可能となります)

② 4R(4S・FS)

レース専用4輪車クラス。4S(ツーリングカークラス)とFS(フォーミュラカークラス)の2種類のクラス区分があります。

③ ライドオンクラブ(ROC) ※原則として平日開催

ナンバー付き2輪車(ナンバー付き2サイクル125cc以上、4サイクル250cc以上)クラス。フルコース・東コース・南コースで開催いたします。ただし、フルコースでの走行には追加講習が必要です。

④ チャレンジクラブ(CC) ※原則として平日開催

ナンバー付き4輪車(RV・軽自動車不可)クラス。フルコースで開催いたします。

【南コース スポーツ走行クラス】

	レース専用車両クラス	ナンバー付車両クラス
2輪	①2S(南) ※2B・2S混走 ②MB	⑤ライドオンクラブ(ROC)
4輪	③4FS(南) ※4S・FS混走	⑥エンジョイクラブ (グリップ・ジムカーナ)
カート	④カート	—

① 2S(南)

南コース限定のレース専用2輪車
(2サイクル125ccクラス以上・4サイクル250ccクラス以上)

② MB

南コース限定のレース専用ミニバイク
(2サイクル50cc以上125ccクラス未満・4サイクル50cc以上250ccクラス未満)

③ 4FS(南)

南コース限定のレース専用4輪車クラス。

④ カート

南コース限定のレーシングカート専用クラス。各カテゴリー混走となります
(混雑日はクラス分けをする場合があります)。

⑤ ライドオンクラブ(ROC)

ナンバー付き2輪車
(ナンバー付き2サイクル125ccクラス以上・4サイクル250ccクラス以上)

⑥ エンジョイクラブ

南コース限定の4輪車クラス。一部軽自動車の参加も可能です。
ナンバー付全車両によるフリー走行の「グリップクラス」と1周のタイムアタックを行う「ジムカーナクラス」の2種類があります。「ジムカーナクラス」のみジムカーナ競技用車両での走行が可能です。

》スポーツ走行クラス区分

① 2R(レース専用車両 フルコース、東コース、西コース)

2B(2輪ビッグ)

単気筒・2気筒は750cc以上、3気筒以上は400cc以上

2S(2輪スモール)

単気筒・2気筒は750cc未満、3気筒以上は400cc未満

② 4R(レース専用車両 フルコース・東コース・西コース)

4S ツーリングカークラス(RS、VITA、CS2を含む)。

FS フォーミュラカークラス(フォーミュラカー全般)。

③ ライドオンクラブ(ナンバー付2輪車クラス) ※原則として平日開催

ライドオンクラブ(東コース 先導走行+フリー走行)

東コース及びフルコースは走行タイムによるクラス分けがあります。

・エキスパートクラス(ROC-E)

東コース1周のタイムが1分5秒未満の方はこちらにご参加ください。

・ベーシッククラス(ROC-B)

東コース1周のタイムが1分5秒以上の方はこちらにご参加ください。

・オールクラス(ROC-A)

エキスパートクラス、ベーシッククラス混走のクラスです。

フルコースライドオンクラブ(フルコース 先導走行+フリー走行)

・エキスパートクラス(FROC-E)

東コース1周のタイムが1分5秒未満、またはフルコース1周のタイムが2分50秒未満の方はこちらにご参加ください。

・ベーシッククラス(FROC-B)

東コース1周のタイムが1分5秒以上、またはフルコース1周のタイムが2分50秒以上の方はこちらにご参加ください。

④ 4輪(ナンバー付車両クラス) ※原則として平日開催

チャレンジクラブ(フルコース 先導走行+フリー走行)

走行タイムによるクラス分けを設定しています。

・ハイクラス(CC-H)

フルコース1周のタイムが2分50秒未満の方はこちらにご参加ください。

・ビギナークラス(CC-B)

フルコース1周のタイムが2分50秒以上の方はこちらにご参加ください。

・クルージングクラス(CC-C)

フルコース1周のタイムが3分30秒以上でご走行ください。

・ビギナーハイクラス(CC-BH)

ハイクラス、ビギナークラスの車両が混走となります。

※クラス区分は自己申告タイムによる区分です。初めて走行される方や、小排気量(NA1300cc未満)の車両はビギナークラスでの走行をお願いします。

※ハイクラスの方は、同一日にビギナークラスでの走行は出来ません。

※ビギナークラスの方は、同一日にハイクラスでの走行は出来ません。

■ 南コース

① 2S

2サイクル125ccクラス以上・4サイクル250ccクラス以上のレース専用車両のクラス

MB

2サイクル50cc以上125ccクラス未満・4サイクル50cc以上250ccクラス未満のレース専用ミニバイククラス

② 4FS

レース専用のツーリングカークラス(4S)・フォーミュラカークラス(FS) 混走

③ カート

レーシングカート(南コースのみ・全クラス混走)。

④ ライドオンクラブ

2サイクル125ccクラス以上、4サイクル250ccクラス以上のナンバー付2輪車クラス

⑤ エンジョイクラブ(南コース)

グリップ

フリー走行(タイム計測は行いません)

ジムカーナ(GYM)

1周ごとのタイムアタック計測走行

▶▶ 走行者の装備・走行車両規定

① ライダー、ドライバーの装備

	2輪		4輪	
	2B・2S・ライドオンクラブ	4S・FS	カート	チャレンジクラブ エンジョイクラブ
ヘルメット	フルフェイスタイプでMFJ公認のものを着用。	フォーミュラカー及びカートの場合はフルフェイスタイプ、ツーリングカーの場合はフルフェイスタイプを基本とするがジェットタイプも使用可。		フルフェイスタイプまたはジェットタイプであれば規格などに制限はなし。 ※JAF公認ヘルメットの着用を推奨。 ※原付用等は不可。
レーシングスーツ	革または革と同等の素材(MFJ公認を得たもの)で全身を覆うツナギを着用。 セパレートタイプの場合は「MFJロードレース公認」タイプのみ使用可能。	不燃性素材のレーシングスーツ及び耐火炎のアンダーウェア及びフェイスマスク(バラクラバ)を着用。 ※JAF公認品の着用を推奨。	革製もしくはJAF公認レーシングスーツを着用。	長袖、長ズボン着用。 ※JAF公認レーシングスーツおよびアンダーウェアの着用を推奨。
グローブ	革または革と同等の素材で指先及び手首まで完全に被われているものを着用。 着用時に肌が露出しないこと。	耐火炎素材(不燃性)で肌の露出しないものを着用。 ※JAF公認品の着用を推奨。	革製もしくはJAF公認グローブを着用。	レーシンググローブまたは同等に操作性に優れたものを着用(指が全て保護されるもの)。 ※JAF公認グローブの着用を推奨。
シューズ	革または革と同等の素材で踵から足首までを完全に保護し肌が露出しないものを着用。 フック等金具類が外部に露出していないこと。	耐火炎素材(不燃性)のもので底の平らな滑りにくいものを着用。 ※JAF公認品の着用を推奨。	革製もしくはJAF公認レーシングシューズを着用。	レーシングシューズやスニーカーなどペダル操作のしやすいものを着用。 ※JAF公認レーシングシューズの着用を推奨。
その他	スーツのタイプに関わらず脊椎パットは必ず着用。ヘルメットリムーバー、チェストガード及びエアバッグの使用を強く推奨。 ※22歳以下はエアバッグ義務付け。 ※2023年より55歳以上もエアバッグ義務付け。	ヘルメット、レーシングスーツ、グローブ、シューズ共にJAF公認品の着用を強く推奨。 ※FHR(HANS)システムの着用を推奨。 ※JAF公認品の着用を推奨。	ヘルメット、レーシングスーツ、グローブ、シューズ共にJAF公認品の着用を強く推奨。	※FHR(HANS)システムの着用を推奨。

※レース参加時のライダー装備についてはヘルメットリムーバー、脊椎パット、チェストガードの着用が義務付けとなっています。詳細は最新版の「MFJ国内競技規則」をご確認ください。

※レース参加時のドライバー装備については最新版の「JAF国内競技車両規則」および、「各レース規定」を必ずご確認ください。

※2輪スポーツ走行にご参加の方で、慣らし運転をされる方や身体にハンディキャップをお持ちの方は専用のピブスの着用をお勧めします。貸し出し・返却は精算所にて行っております。ピブス着用ルールについては巻末をご参照ください。

※製造後、長い年数が経過、または損傷のあるヘルメットの使用はご遠慮ください。

② レース専用車両(2B・2S・FS・4S) 規定

- 原則としてレース車両で4輪はJAF、2輪はMFJの定める規則に適合する車両のみ走行に参加できます。
- 係員が安全でないと判断した車両はコースインできません。
- カテゴリー別の排気音量規制を遵守してください。

■ 2輪(2B・2S)

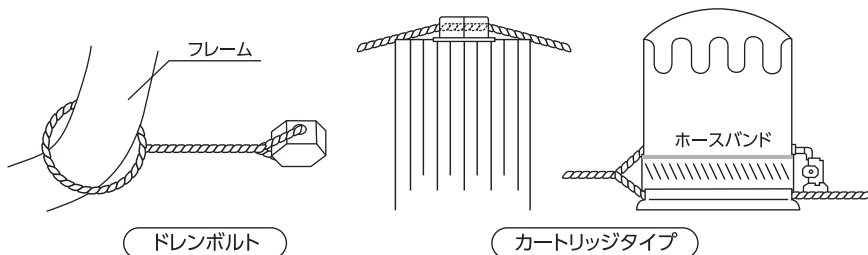
市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクル(プロダクション車両)で走行する場合は、必ず下記の条件すべてを満たすことが必要です。詳細は「MFJ国内競技規則」をご参照ください。

必ず取り外さなければならないもの

- ナンバープレート
- ヘッドライト・ウィンカー・テールランプ・リフレクターなど灯火類
- バックミラー(左右)
- センタースタンド・サイドスタンド・セーフティーバー
- 同乗者用フットレスト、グラブレール

必ず取り付けなければならないもの

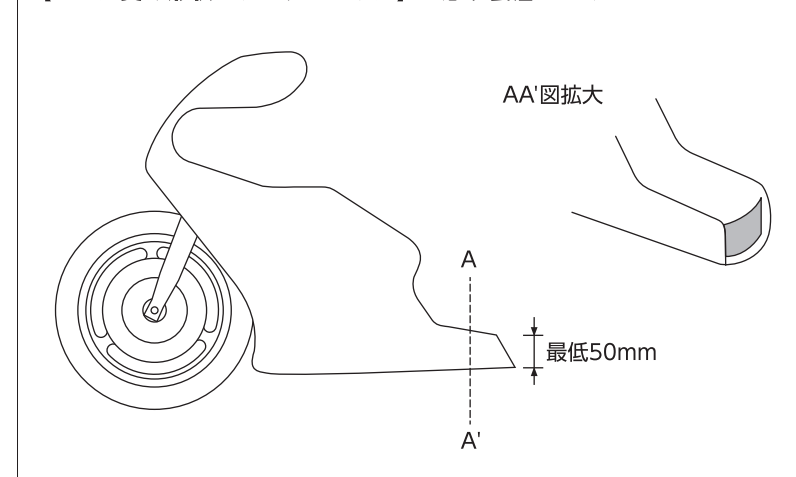
- ドレンボルトのワイヤーロック
 - 2サイクル車両はミッションオイルドレンボルト、4サイクル車両はエンジンオイルドレンボルトをワイヤーロックしてください。
 - オイルフィルターキャップや外付け式カートリッジ式オイルエレメントもワイヤーロックなどの緩み防止処置を施してください。(オイルフィルターカバー取り付けボルトを含みます。)



● クローズドブリーザーシステムおよびオイル受け形状のアンダーカウル

- 万一のエンジン破損時又は故障時にそのエンジンに使用されるエンジンオイル及びエンジンクォラント総量の最低半分(2Sは最低2.5リットル、2Bは最低5リットル)を保持する構造のアンダーカウルを装着してください。
- すべての車両はクローズドブリーザーシステム(エンジンから吹き返すオイルを車外に放出しない構造)を備えていなければなりません。
- オイルブリーザーホースはエアクリーナーボックスに連結されなければなりません。
- エアクリーナーボックスで1000ccのオイル受け容量を確保できない場合オイルキャッチタンクを装着し合計1000cc以上の容量を確保してください。

【オイル受け形状のアンダーカウル】※必ず装着してください。



● ゼッケンプレート

- フロントカウル、シートカウルもしくはサイドカウルの左右計3ヶ所に必要です。3ヶ所とも同じ番号を表示してください。なおスポーツ走行時のゼッケンナンバーに指定はありません。

● その他

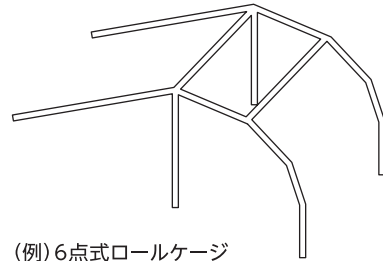
- 記載なき事項は「MFJロードレース基本仕様」に準じます。レース参加車両は各レースの特別規則書をご参照ください。
- カテゴリー別の排気音量規制を厳守してください。詳細はMFJ国内競技規則をご参照ください。
- 整備不良車両(オイル漏れなど)は走行をお断りいたします。事前にきちんと整備を行ってください。

■ 4輪 (FS・4S)

市販車両をベースとする場合、次のような装備が必要です。詳細は「JAF国内競技車両規則」をご参照ください。

● ロールケージ(4輪)

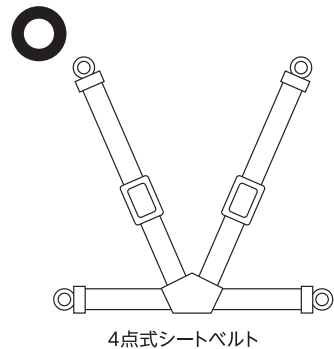
- ・全ての車両に6点式以上の室内ロールケージ装着が義務づけられます。



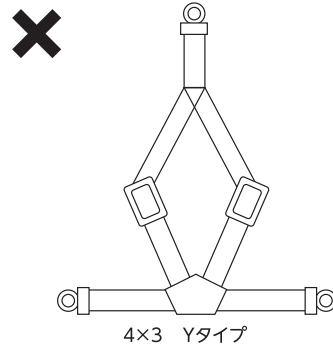
(例) 6点式ロールケージ

● シートベルト(4輪)

- ・シートベルトは4点式以上のフルハーネスタイプで、ワンタッチかつ簡単な操作で離脱出来るものを装着してください。
- ・車体への取り付けは各シートベルトメーカーの指示に従い確実に取り付けてください。
- ・4×3のYタイプ仕様は使用できません。



4点式シートベルト



4×3 Yタイプ

● 消火器(4輪)

- ・車両には1つあるいは2つの同一消火剤容器で粉末2.0kg以上の内容を装備(または「FIA国際モータースポーツ競技規則付則J項第253条」に記された消火剤および内容を装備しても良い)し、速やかに操作できる状態で積載してください(使用可能期間のチェックも行なってください)。

※「JAF国内競技車両規則」より

● 牽引用フック(4輪)

- ・トラブル時などに牽引にて移動出来るよう車体の前後に頑丈な牽引用フックを取り付け判別しやすいよう黄色、オレンジ色又は赤色で塗装してください。

※回収作業時にできるだけ迅速に回収作業を行えるように、あらかじめ牽引用フックの場所や牽引方法などをご確認ください。

※トラブルの状況によってはクレーンなどで吊り上げる場合もあります。

※回収中の車両破損には責任を負いません。あらかじめご了承ください。

● オイルキャッチタンク(4輪)

- ・コースへのオイル流出を防止するため必ずオイルキャッチタンクを装着してください。
- ・タンクは車体に確実に固定され排気量2000cc以下の車両に対しては2リットル、それ以上の車両に対しては3リットル以上の容量が必要です。

● 燃料タンク(4輪)

- ・燃料タンクは安全燃料タンクが望ましいですが、ノーマルタンクでの走行も可能です。

● 灯火類(4輪)

- ・取り外す必要はありませんが、ライト類はレンズ飛散防止のためテーピングを推奨します。

● タイヤ(4輪 カート)

- ・摩耗したタイヤでの走行及び雨天時のスリックタイヤでの走行はご遠慮ください。
- ・走行前には空気圧調整を入念に行ってください。

● 排気管、消音器(4輪 カート)

- ・排気管は後方または側方に向け必ずマフラー(消音器)を取り付けてください。
- ・マフラーはレース時の音量規定をクリアできるものを装着してください。

● 車両ゼッケン(4輪 カート)

- ・走行時には車両ゼッケンを車体に貼って走行してください。スポーツ走行時のゼッケンナンバーに指定はありません。
- ・ツーリングカーは4カ所、フォーミュラカー及びカートは3カ所に同じ番号をわかりやすい書体で表記してください。

● 内装(4輪)

- ・カーペットや内張など燃えやすい素材のものは取り外してください。

● その他(2R・4R・カート共通)

- ・レース専用車両クラスで走行する車両はレース仕様車両に限定され、MFJ(2輪)、JAF(4輪)の定める国内競技車両規則に適合するものでなくてはなりません。
- ・鈴鹿サーキットレーシングコース及び南コースで開催されるレースのいずれかのカテゴリにもあてはまらない車両は走行をご遠慮ください。
- ・カテゴリ別の排気音量規制を厳守してください。詳細は「JAF国内競技車両規則」をご確認ください。
- ・コースインの際、係員が安全でないと判断した車両は走行できません。
- ・レース専用車両は必ずトランスポーター等での搬入をお願いたします。自走や牽引による移動はご遠慮ください。

③ ナンバー付車両(ROC・FROC・CC)規定 ※レース専用車両では走行できません。

■ 2輪

● ライドオンクラブ(レーシングコース、東コース、南コース)

一般公道の走行が許可されているナンバープレートがついている登録車両であること。

※走行日に有効な自賠責保険に加入していること。

※コースイン前の車両確認の際に「自動車検査証」もしくは「自賠責保険証」を提示いただく場合があります。

※仮ナンバーおよびナンバーなし車両での自走来場によるスポーツ走行参加はできません。

※2ストローク125cc未満、4ストローク250cc未満のクラスは走行できません。

※フレームタイプがスクーターやアンダーボーンタイプの車両は走行できません。

※違法改造、整備不良の車両は、走行をお断りいたします。

【車両装備】

◎ 必須装備

① タイヤ・ホイール

一般溝付き公道用タイヤで、スリップサインが出ていないものをご使用ください。
スリックタイヤおよびレーシングレインタイヤの使用は禁止です。

② 保安部品

ヘッドライト・ブレーキランプ・ナンバープレートは装着した状態であればなりません。

※ヘッドライト・ブレーキランプは正常に作動すること。

※転倒時の飛散防止のため、ガラスレンズにはライト点灯が確認できる程度にテーピングを施してください。

○ 推奨装備

① ドレンボルト

オイル漏れ防止のため、各ドレンボルトはワイヤーロックを強く推奨します。

② タイヤ・ホイール

バランス用ウェイトはガムテープなどで固定を推奨します。

③ アンダーカウル

オイル漏れによる事故を防ぐため、アンダーカウルの装着を強く推奨します。

④ 保安部品

ウインカー・バックミラー・スタンド・タンデムステップは取り外し可能です。
※転倒時の飛散防止のため、ウインカー・ミラーにはテーピングを施してください。



○ 取り外すことが可能な部品

- ・ウインカー
- ・バックミラー
- ・サイド/センタースタンド
- ・タンデムステップ

× 取り外してはいけない部品

- ・ナンバープレート
- ・ヘッドライト
- ・ブレーキランプ

■ 4輪

● チャレンジクラブ(レーシングコース)

・一般公道が走行できる車両であること。(違法改造・整備不良車・車検切れは不可。)

※ナンバー封印に加工が認められる車両は走行できません。

※仮ナンバーの車両は走行できません。

・RV車、軽自動車を除く3, 5, 7ナンバーの乗用車タイプでセンターピラーがある車両。無い場合はロールケージが必要です。

・マフラー(消音器)は保安基準に適合したものを装着してください。

・スリックタイヤ・レーシングレインタイヤは使用できません。

・オープンカーについては以下「オープンカー特別規程」をクリアした車両のみ走行していただけます。

・フロントガラスの車両標章シールは貼り付けた状態で走行してください。

※安全上の理由によりご走行いただけない車種がございます。詳しくはSMSC事務局までお問い合わせください。

● オープンカー特別規定(下記5点を満たす車両のみチャレンジクラブにご参加いただけます)

・後方4点式以上のロールバーを取り付けること。(ロールケージの取り付けを推奨します)

・4点式以上のシートベルトを取り付けること。

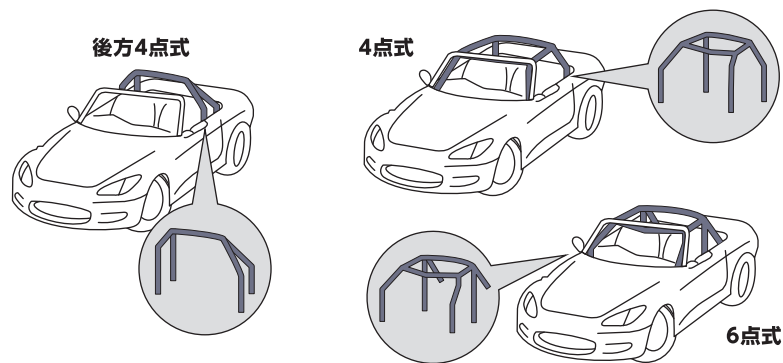
・走行時には屋根を閉めること。(ソフトトップ・ハードトップとも)

・フルフェイスタイプのヘルメットを着用すること。(JAFまたはMFJ公認品を推奨 原付用等は使用禁止)

・ドライバーがヘルメットを着用してシートに着座した際、ヘルメットの上部がロールケージ上部を直線で結ぶ仮想線より上に出ないこと。



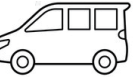





【走行可】 ※最低条件となります。

【推奨】



上記ロールケージに加えて、ルーフトップの装着+フルフェイスヘルメットの着用が義務付けとなります。








チャレンジクラブ車両規定ガイドライン【走行できない車両】

車体形状	分類	理由
	車高がチャレンジクラブ走行車両規定値以上の車両 ※規定値についてはお問い合わせください。	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為
	スポーツユーティリティビークル (SUV)	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為 グラベルでの横転を避ける為 規定値未満の車高でも不可 ※対象外(セダンベース構造車) 例) ツーリングワゴン スポーツワゴン ステーションワゴン
	ミニバン (RV) ・トールワゴン ・ハイトワゴン ・プッチバン ・コンパクトSUV ※大型貨物室(荷室)を有する車両	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為 グラベルでの横転を避ける為 規定値未満の車高でも不可
	クロスオーバー 4WD(オフロード4WD)	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為 走行性能やタイヤ特性から流れに乘れない為(走行ベース差) ※対象外 当表に該当しない4WD(AWD)車
	貨物車両 4・1ナンバー 走行可能条件は乗用車であること。	乗用車に限定する為
	軽自動車(軽四輪)	走行性能差から流れに乘れない為(走行ベース差) 他車との衝突時の乗員保護を考慮して不可
	グラストップルーフ 天井部分にガラスが施されている車両	横転時の乗員保護を考慮して不可 ロールオーバー特性から横転事故を避ける為
	SMSCが危険であると判断した車両 違法改造車両 接触時に他車への加害性のある車両 部品脱落が危惧される車両	保安基準に適合した車両に限定する為 ・大型(過大)ウイングの装着 ・保安基準不適合のマフラー交換 ・レース用タイヤの装着 ・アクリルガラスへの交換 ・フロントガラスへの大型ステッカー装着 など

● エンジョイクラブ(南コース限定 グリップ・ジムカーナ)

- ・RV車両を除く3, 5, 7ナンバーの乗用車タイプ。**オープンカー及び軽自動車も走行可能です。**
- ・一般公道が走行できる車両であること。(整備不良車・車検切れは走行不可。)
- ※ジムカーナクラスのみジムカーナ競技専用車両(D車両)の走行が可能です。

エンジョイクラブ車両規定ガイドライン【走行できない車両】

車体形状	分類	理由
	車高がエンジョイクラブ走行車両規定値以上の車両 ※規定値についてはお問い合わせください。	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為
	スポーツユーティリティビークル (SUV)	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為 グラベルでの横転を避ける為 規定値未満の車高でも不可 ※対象外(セダンベース構造車) 例) ツーリングワゴン スポーツワゴン ステーションワゴン
	ミニバン (RV) ・トールワゴン ・ハイトワゴン ・プッチバン ・コンパクトSUV ※大型貨物室(荷室)を有する車両	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為 グラベルでの横転を避ける為 規定値未満の車高でも不可
	クロスオーバー 4WD(オフロード4WD)	ロールオーバー特性から横転事故を避ける為 走行性能やタイヤ特性から流れに乘れない為(走行ベース差) ※対象外 当表に該当しない4WD(AWD)車
	貨物車両 4・1ナンバー 走行可能条件は乗用車であること。	乗用車に限定する為
	グラストップルーフ 天井部分にガラスが施されている車両	横転時の乗員保護を考慮して不可 ロールオーバー特性から横転事故を避ける為
	SMSCが危険であると判断した車両 違法改造車両 接触時に他車への加害性のある車両 部品脱落が危惧される車両	保安基準に適合した車両に限定する為 ・大型(過大)ウイングの装着 ・保安基準不適合のマフラー交換 ・レース用タイヤの装着 ・アクリルガラスへの交換 ・フロントガラスへの大型ステッカー装着 など

● 各クラブ※注意事項

- ※ライドオンクラブ、フルコースライドオンクラブ、チャレンジクラブ、エンジョイクラブ
- ・一般公道仕様であること。(保安基準適合車)
- ・**ナンバーの取り外し、車検切れ、自賠責保険切れの車両は走行できません。**
- ・灯火類(ヘッドライト・ウィンカー・テールランプ・リフレクター類)はビニールテープなどで飛散防止処置(テーピング)施すことを推奨します。
- ・ライドオンクラブでミラーを付けたまま走行する場合はミラーのテーピングも推奨します。

● カメラの搭載について

・撮影目的はご自身の走行の研究など、個人での使用のみに限定いたします。

商用目的はご遠慮ください。

- ・カメラの搭載は車体のみ可能です。ライダー、ドライバーの装備品には装着できません。
- ・カメラは車体に強固に固定していただき、風圧、振動などで脱落しないようにしてください。
- ・カメラはボルト・ナットで車体に強固に固定し、ワイヤーロックを施して落下を防止してください。
- ・レース時のカメラ搭載については、カメラ搭載許可申請書の提出が必要です。
- ・2輪車はハンドル幅より外側へは装着できません。※グリップエンドへの装着はできません。

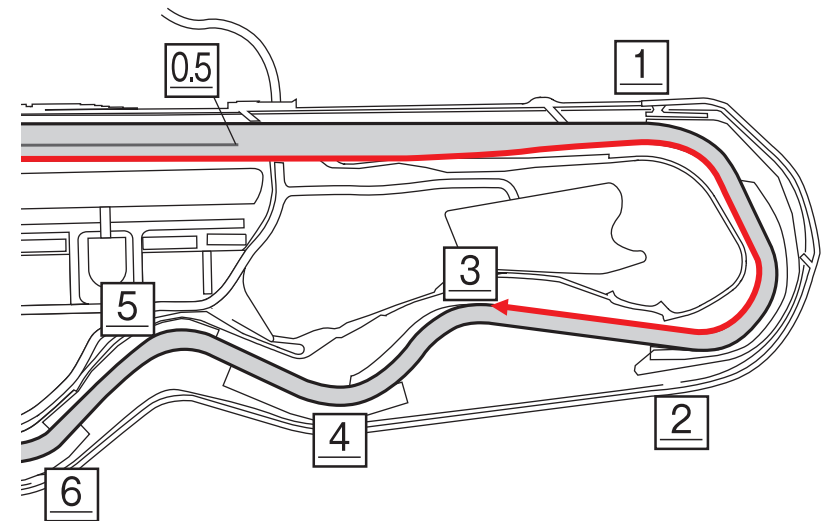
● その他

- ・コースイン前の車両確認の際に、「自動車検査証」もしくは「自賠責保険証」をご提示いただく場合がありますので、必ず携行してください。
- ・テーピングを施す場合は、車体と各ライト類とを「×」印などになるようビニールテープを貼ってテーピングしてください。
- ・**外国車や国産の一部車種はご参加いただけない場合がありますので、走行できる車種については事前にSMSC事務局までお問い合わせください。**
- ・その他、ご不明な点についてはSMSC事務局までお問い合わせください。

》 コースイン・ピットインのルール

① コースイン(フルコース、東コース 2輪、4輪共通)

1. ピットレーン出口のシグナルランプが「緑」であることを確認しコースインします。シグナルランプ「赤」点灯時はコースインせずピットレーン出口手前で停止して下さい。また係員が誘導を行っている場合は係員の指示に従ってください。
2. ピットレーン出口から1コーナーにかけてコース中央に引かれている白線を踏んだり越えたりしないようにコースインしてください。本コースに合流する際はホームストレート走行中の車両に優先権があります。ホームストレート走行車両の進路を妨げないようにご注意ください。
3. コースに合流したら第3コーナー(S字コーナーひとつ目)手前まではコースの右端を走行してください。
4. レコードラインに合流する際は必ず後方の安全確認を行い、速い車両が追いつてきている場合は右端走行を継続してください。
5. ピットレーンの制限速度は60km/h以下です。他の走行車両やピットクルーの不意の飛び出しなどに注意して走行してください。

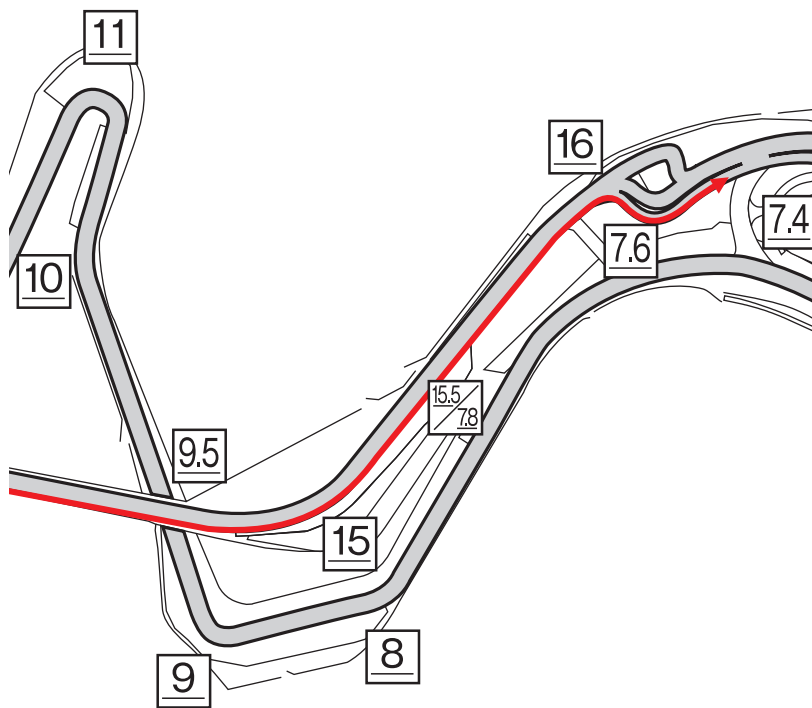


② ピットイン(フルコース2輪)

フルコース走行時の2輪専用ピットレーン入口は、130Rコーナー過ぎシケイン手前の右側にあります。

1. 130R手前からコースの右端を走行し後続車両にピットインの意志をアピールするため手を上に挙げてよく分かるようにハンドサインを出してください。
2. 130Rもコース右端を走行しピットレーンの手前約50mのところまで再度ハンドサインを出し、スムーズにピットレーンへ進入してください。

※130Rコーナーからピットレーン入口までの間は走行ラインが重なる部分があり、速度差もあります。合図を忘れないようにし、出来るだけ右端を走行するよう心掛けてください。

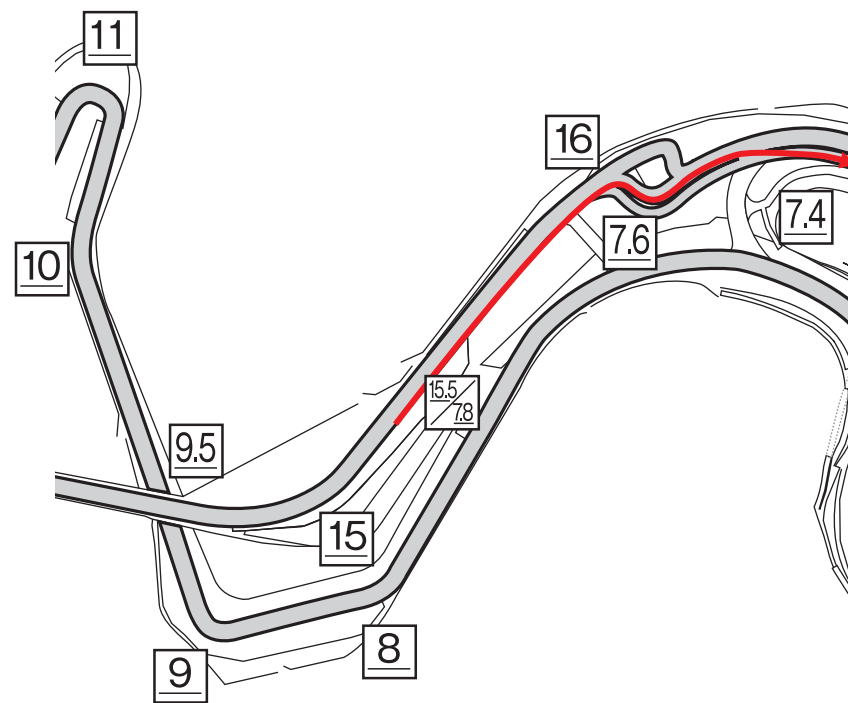


③ ピットイン(フルコース4輪)

フルコース走行時の4輪用ピットレーン入口はシケインを過ぎた最終コーナーの右側にあります。

1. 130R立ち上がりからウィンカーやハンドサインなどで後続車に合図し、コースの右端を徐々に減速しながら走行します。
2. シケイン立ち上がりより再度後続車両にウィンカーやハンドサインによる合図を明確に表示し、スムーズにピットレーンへ進入してください。

※シケインからピットレーン入口までの間は走行ラインが重なる部分があり、速度差もあります。合図を忘れないようにし、出来るだけ右端を走行するよう心掛けてください。

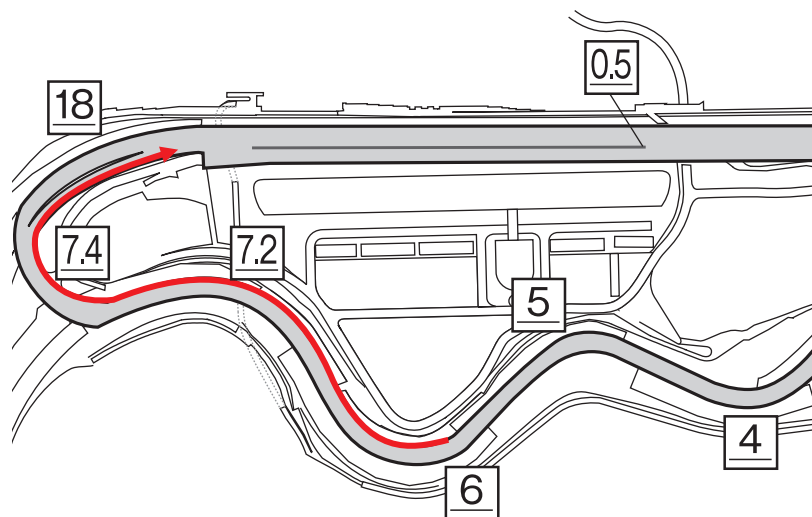


④ ピットイン(東コース 2輪4輪共通)

東コース走行時のピットレーン入口は、逆バンク過ぎの東ショートカット右側にあります。

1. 逆バンク立ち上がりよりコースの右端を走行します。
2. 7.4番ポスト前からピットレーン入口までウィンカーや手による合図を後続車によくわかるように表示し、スムーズに進入してください。

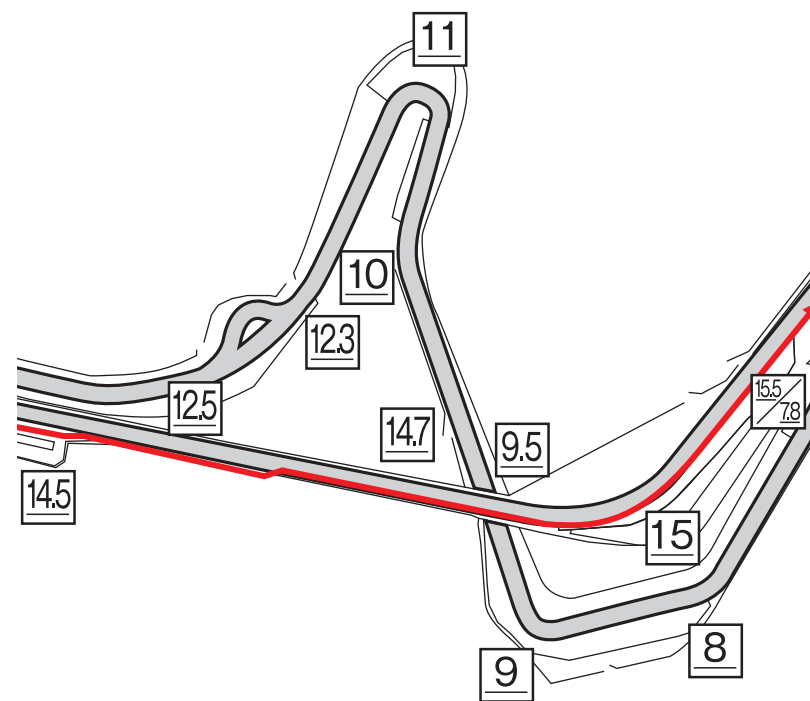
※東ショートカット入口からピットレーン入口までの間は走行ラインが重なる部分があり、速度差もあります。合図を忘れないようにし、出来るだけ右端を走行するよう心掛けてください。



⑤ コースイン(西コース 2輪4輪共通)

1. ピットレーンを出てコースに合流したらコースの右端を走行し、130Rを過ぎるまでは進路を変えないようそのまま右端を走行してください。
2. コースに合流する場合、バックストレート走行中の車両に優先権があります。バックストレート走行車両の進路を妨げないようご注意ください。

※西コースピットレーンの制限速度は40km/h以下です。他の走行車両やピットクルーの不意の飛び出しなどに注意して走行してください。



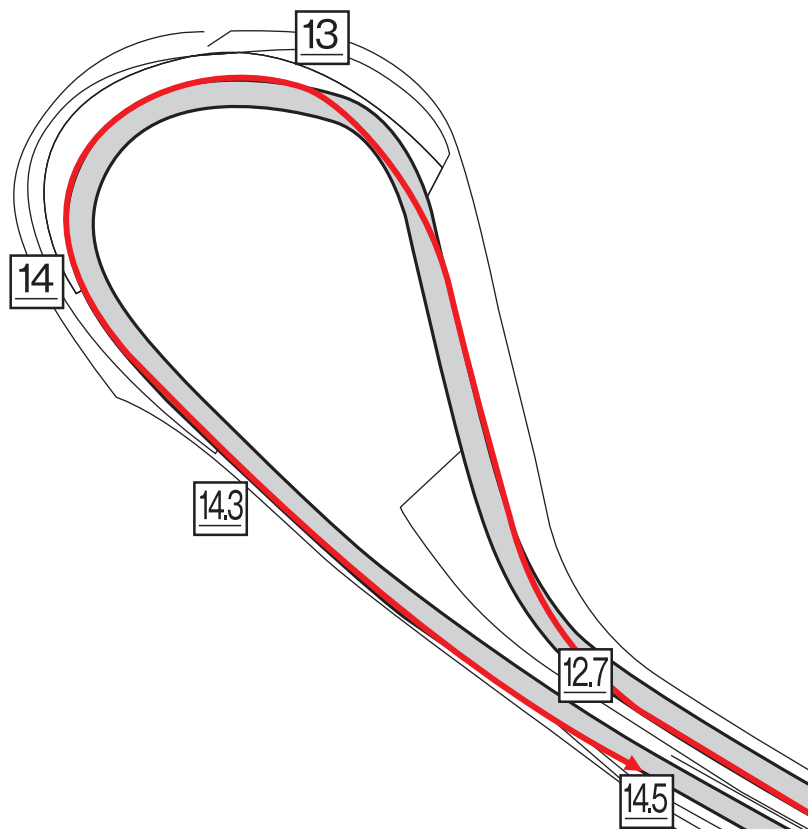
⑥ ピットイン(西コース 2輪4輪共通)

西コース走行時のピットレーン入口は、スプーンカーブを過ぎたバックストレートの右側にあります。

1. スプーンカーブ2つ目入り口よりコースの右端を走行します。
2. スプーンカーブ立ち上がりよりピットレーン入口までウィンカーやハンドサインによる合図を後続車によくわかるように表示し、スムーズに進入してください。

※スプーンカーブ立ち上がりからピットレーン入口までの間は走行ラインが重なる部分があり速度差もあります。合図を忘れないようにし、出来るだけ右端を走行するよう心掛けてください。

※西コースのピットレーンは短く、ピットは数に限りがあります。走行終了後は全車西コース管理室横よりパドックへ退出してください。

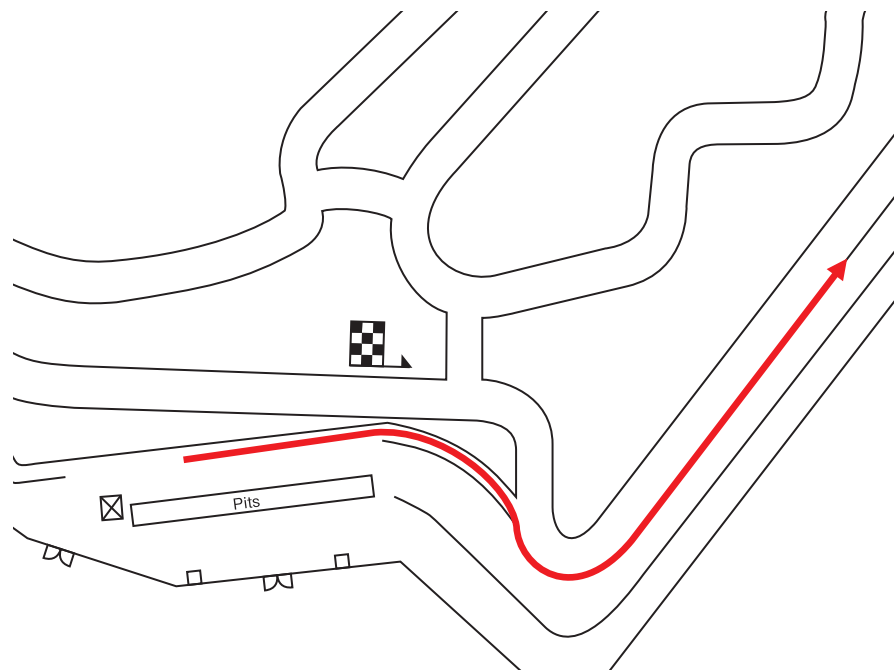


⑦ コースイン(南コース 2輪4輪共通)

1. ピットレーン出口のシグナルランプが「緑」であることを確認し、コースに合流します。シグナルランプ「赤」点灯時はピットレーン出口手前で停止してください。また、係員が誘導している場合は係員の指示に従ってください。
2. ピットレーンを出てコースに合流したらコースの右端を走行します。
3. 第2コーナーを過ぎてバックストレート中ほどまでは進路を変えないよう、右端を走行してください。

※コースに合流する際、走行中の車両に優先権があります。走行車両の進路を妨げないように注意して走行してください。

※ピットレーンの制限速度は30km/h以下です。他の走行車両やピットクルーの不意の飛び出しなどに注意して走行してください。



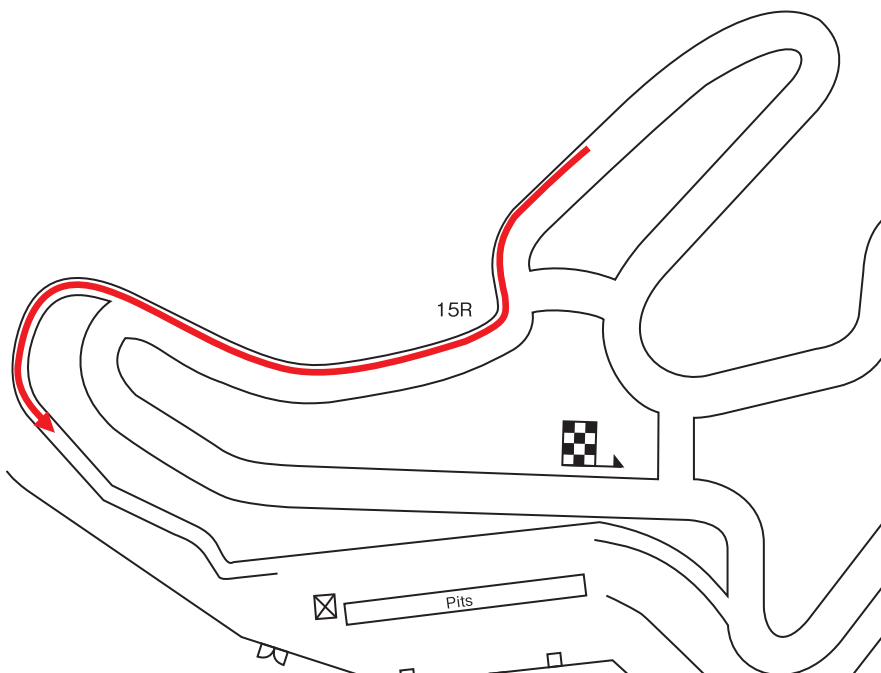
⑧ ピットイン(南コース 2輪4輪共通)

南コース走行時のピットレーン入口は最終コーナー入口の右側にあります。

1. ピットインする場合は最終コーナー手前の15Rよりコースの右端を徐行走行します。
2. 15R立ち上がりからピットレーン入口までウィンカーや手による合図を後続車にわかりやすく表示し、スムーズに進入してください。

※15R立ち上がりからピットレーン入口までの間は走行ラインが重なる部分があり、速度差があります。合図を忘れないようにし、出来るだけ右端を走行するよう心掛けてください。

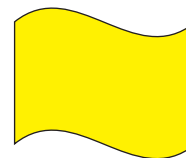
※走行終了時はコース管理室横からパドックへ退出してください。



フラッグ規定・ライトパネル・表示板

レーシングコース上での走行は、コース内の安全性と秩序のために、フラッグやライトパネルなどのシグナル表示のもとにすべて行われています。無視、見落とし、認識不足は重大な事故にもつながるため、健全なるスポーツマンとしての認識と自覚を持ち、規則を遵守して走行してください。フラッグ・ライトパネル・表示板の種類や意味、表示方法等についてはFIA(国際自動車連盟)およびFIM(国際モーターサイクルリズム)規定に準拠しています。フラッグ・ライトパネルは、瞬間的、暫時的、恒久的に表示され、また表示場所は局部的、移動的に表されます。

① 黄旗



黄旗静止表示(2輪・4輪)

・下見走行及びチェッカーフラッグ後に表示。

黄旗1本振動表示(2輪・4輪)

・危険予告。

・コース上、(ランオフエリア含む)に危険がある。

またはトラック脇、コースの一部に危険箇所がある。

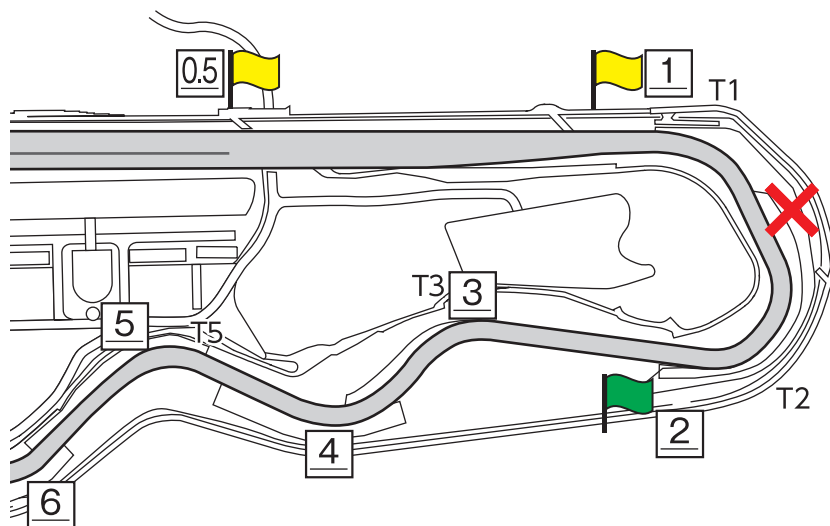
・減速および停止準備、追い越し禁止。

黄旗2本振動表示(2輪・4輪)

トラックが全面的あるいは部分的にふさがれているような危険箇所がある。

・減速および停止準備、追い越し禁止。

(例)トラブルが発生した場合の基本的な信号旗(2輪レースの場合)



2輪レース(FIM・MFJルールの場合)

- ポスト①…黄旗振動表示。(予告)追い越し禁止。
- ポスト②…黄旗振動表示。減速。追い越し禁止。
- ポスト③…緑旗表示。規制区間の解除。

2輪スポーツ走行

- ポスト②…黄旗振動表示。減速。追い越し禁止。
- ポスト③…緑旗は表示されず事故現場通過後、規制は解除される。

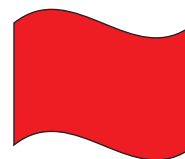
4輪レース(FIA・JAFルールの場合)

- ポスト①…表示無し。しかし幾つかのケースにおいて事故現場の手前の複数のポストで黄旗が表示される場合がある。
- ポスト②…黄旗振動表示。減速。追い越し禁止。
- ポスト③…緑旗表示。規制区間の終点を表す。

4輪スポーツ走行

- ポスト②…黄旗振動表示。減速。追い越し禁止。
- ポスト③…緑旗は表示されず事故現場通過後、規制は解除される。

② 赤旗

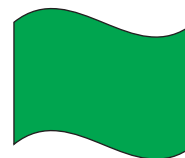


振動表示(2輪・4輪)

- ①レースまたは走行を中止する必要が生じた場合(重大な事故発生)に表示される。
- ②全車走行中止の合図であり、サーキット内の全ポスト(スポーツ走行時は全使用ポスト)から一斉に表示される。

- ・全ての競技車両は最大限の慎重さと細心の注意を払いながら、必要に応じて停車できる態勢で自己のピットへ進行すること。
- ・レース時は特別規則書で指定された場所へ進行すること。
- ・鈴鹿サーキットでは最徐行、追い越し禁止、右側走行を厳守。

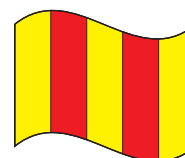
③ 緑旗



振動表示(2輪・4輪)

- ・コースがクリアであることを表す。
- ・先に合図した黄旗などの規制解除(レース時のみ使用)。

④ 赤の縦縞のある黄旗(オイル旗)



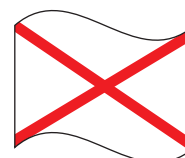
振動表示(2輪)

- ・雨以外の理由でコース表面が滑りやすい状態を表す。

静止表示(4輪)

- ・旗より後の区間内トラック上に、オイル又は水・砂・泥などがあるために路面が滑りやすい状態にあることを示す(降雨を含む)。

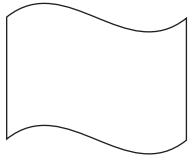
⑤ 赤のクロスがある白旗(レッドクロス)



振動表示(2輪)

- ・当該旗の表示区間付近のコース上において雨が降り始めたことを示す。なお、雨が降り続いた場合併せてオイルフラッグも振動表示される。

⑥ 白旗



振動表示 (2輪)

- ・救急車などの介入車両があり、競技車両同士の追い越しは禁止されるが、介入車両の追い越しは認められる。介入車両を追い越した後の追い越し禁止は解除される。

振動表示 (4輪)

- ・当該ポストの管理下にあるトラック区間に相当低速な車両が存在している事を示す。注意して走行。
- ・救急車などの介入車両がある。競技車両同士の追い越し及び介入車両の追い越しが認められる。

⑦ 白と黒に斜め2分割された旗



静止表示及び振動表示 (2輪)

- ・スロー走行車が前方存在する場合静止表示される。
- ・スロー走行車と走行ラインが重なる場合は振動表示される。

静止表示 (4輪)

- ・スポーツ精神に反する行為をしたドライバーに対し、警告のため1度だけ車両ゼッケンと共に表示される。

⑧ オレンジ色の円形のある黒旗(オレンジボール)+ゼッケンボード

通称「オレンジボール」と呼ばれるフラッグで、車両に機械的故障、その他の問題がありドライバー・ライダーが気付いていない場合、または危険と判断される場合にゼッケンとともに表示される。表示方法及び表示を受けた後に取らなければならない行動については2輪、4輪で異なる。



振動表示 (2輪)

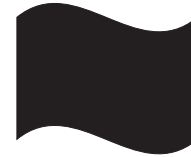
- ・オイル漏れなどの重大なトラブルが発生しているおそれがあり、他のライダーに危険を及ぼすような問題に見舞われているため早急にコース上から退去し、安全な場所に停止しなければならない。

静止表示 (4輪)

- ・車両に機械的欠損が生じている。次にピットインレーンが近づいた際、ピットインし自己のピットに停止しなければならない。但しオイル漏れなど他車に危険を及ぼすおそれがある場合はピットまで戻らずにコース外の安全な場所に停車する。



⑨ 黒旗+ゼッケンボード

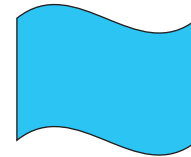


振動表示 (2輪) 静止表示 (4輪)

- ・ゼッケンボードで示されたゼッケンの車両は速やかにピットインし自己のピットまたは特別規則書などで指定された場所に停止しなければならない。



⑩ 青旗(レース時のみ)



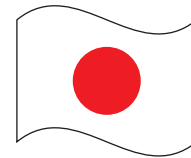
(2輪)

- ・後方よりペースの速い車両が接近し、まもなく追い越される場合に振動表示される。

(4輪)

- ・トラック上に車両が接近しているときにピットを去ろうとしている車両に対し静止表示される(常時)。
- ・振動表示。自分を追い越そうとしている、より速い車両に進路を譲れ(予選中)。
- ・振動表示。通常周回遅れにされようとしている車両に表示され、当該ドライバーはなるべく早い機会を捉えて、後続の車両を先行させなければならない(レース中)。
- ※レース時以外には表示されません。

⑪ 国旗(日章旗)



(2輪)

- ・競技をスタートする時の合図として使用される。
- ・通常、競技スタートの合図はシグナルにて行われる。
- ※シグナルによるスタートの場合は点灯中のレッドライトが消灯したらレーススタートとなる。

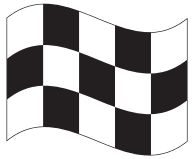
⑫ [STOP]の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボード(2輪レースのみ)



(2輪レース時)

- ストップ・アンド・ゴー・ペナルティーに提示されるものとし、当該ライダーは速やかにピットインし、オフィシャルに指示された場所に進み、指示された時間停止する。

⑬ チェッカーフラッグ



- ・レース、スポーツ走行終了。
次にピットインレーンが近づいたらピットイン。
- ・チェッカーフラッグ表示後は追い越し禁止。
- ・チェッカーを受けた先頭の車両が通過したポストから黄旗が静止表示される。

⑭ ライトパネル

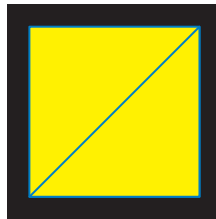
ライトパネルで表示される旗信号とボードの種類【抜粋】。

黄旗1本 振動



One waved yellow
<Flash>

黄旗2本 振動



Two waved yellow
<Flash>

白旗



White
<Flash>

緑旗



Green
<Flash>

赤旗



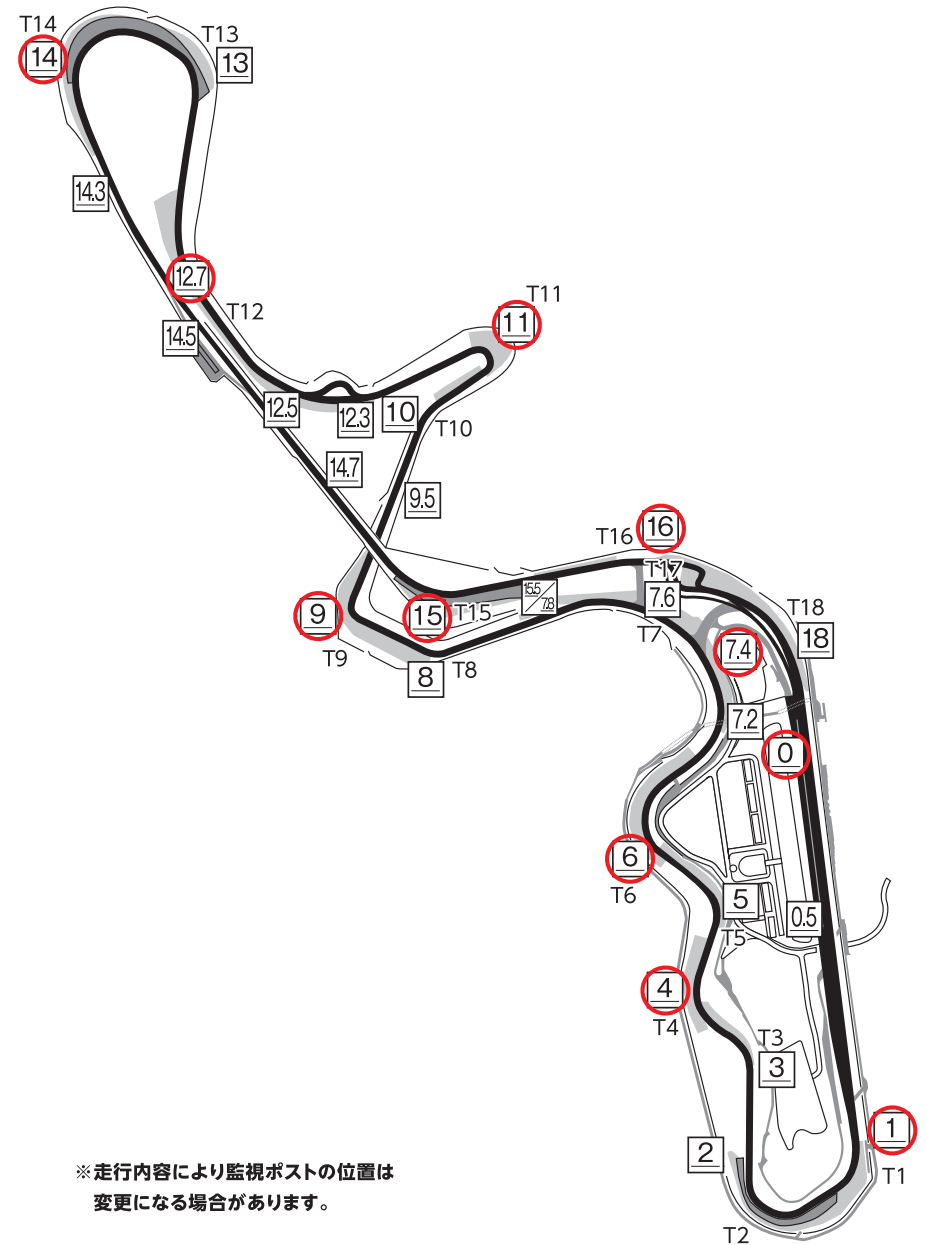
Red
<Flash>

赤の縦縞のある黄旗



Yellow flag with
Red stripe
<No Flash>

⑮ スポーツ走行時監視ポスト



》サーキットでのルール・マナー

サーキットでは、走行中他人が起こした事故に巻き込まれて被害にあったとしても、関係者などに対し責任を追及したり非難したりすることは出来ません。何があっても責任は全て自分にあるという認識のもとで走行してください。また、パドックを含めサーキットエリア内は危険を伴う場所です。家族や友人、ピットクルーの動きにも十分注意していただき、ひとりひとりがルール、マナーを守って事故を未然に防ぐよう心がけてください。

■ パドック

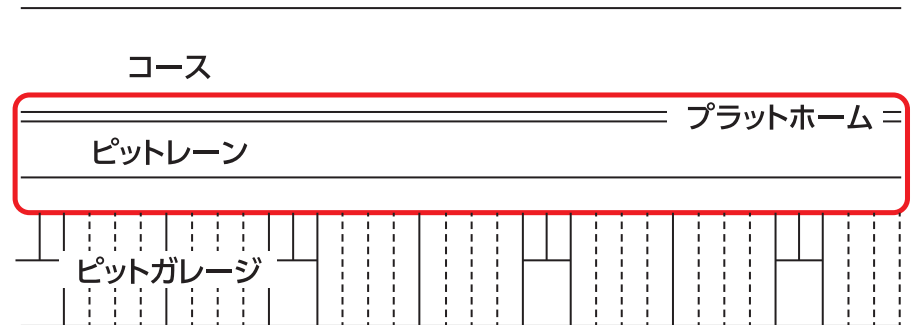
- ・パドックへの入場は決められた時間より可能となります。無断進入や入場待ちのための路上駐車などは絶対にしないでください。
- ・入場の際は入口にて一旦停止し、ゲート係員に入場証(デジタルライセンスなど)をはっきりと提示して許可を受けてから入場してください。※SMSC非会員の方は別途入場料・駐車料等が必要です。
- ・レース開催日にはパスがないとパドックへの入場は出来ません。
- ・パドックではブレーキテストやウォームアップ走行は厳禁です。
- ・パドックは走行車や車両運搬車などの待機場所です。決められた駐車枠にきちんと駐車し、通路などへは絶対に駐車しないでください。
- ・パドック内を通行する際は必ず徐行し、歩行者や他の車両に充分注意の上通行してください。また、パドック内をオートバイ等で走行する際は必ずヘルメットを着用してください。
- ・ペットの入場不可(盲導犬は除く)。

■ ピットエリア

- ・ピット内は火気厳禁です。ストーブやコンロ等の使用はご遠慮ください。
- ・ピット及びピット前は全エリア禁煙です。喫煙は灰皿が設置してある場所にてお願いします。
- ・こぼれたオイルや砂利などは速やかに清掃し、そのままにしないようにしてください。また、ピットやパドックでオイルの流出を発見した場合は拡散防止処置を施した後、お近くの係員まで必ずご連絡ください。
- ・走行終了後は必ずピット内の清掃をしてお帰りいただきますようお願いいたします。

■ ピットレーン・プラットフォーム

- ・ピットレーンの走行は、制限速度(フル・東60km/h・西40km/h・南30km/h)以下で走行し、必ず走行レーンを走行してください。
- ・自分のピットが近づいたら減速し、ピット前の「作業エリア」で停止してください。
- ・ピットレーン作業エリアでの作業やプラットフォームへの横断は、ピットレーンを走行する車両に十分注意してください。
- ・走行中の車両へのピットサインはプラットフォームから行い、サインマン以外の方はプラットフォームに出ないでください。
- ・SMSC会員以外の方がピットレーン及びプラットフォームへ出る場合は、満16歳以上であることとMS共済会への暫定加入が必要です。必ず加入していただき暫定会員証の発行を受け胸に付けてください。(1人1日500円)
- ・ピットレーン全域及びプラットフォームでは安全上、天候にかかわらず傘の使用は禁止といたします。
- ・ピットエリアへの16歳未満の方の入場はご遠慮ください。



枠の中が16歳未満の方の入場禁止ならびに傘使用禁止エリアとなります。同エリアにて活動する方がSMSCライセンスをお持ちでない場合はMS共済会に暫定入会し、暫定会員証を胸に装着してください。

》その他

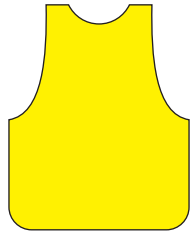
- ・レース、スポーツ走行などは一人で参加せず同伴者との参加するよう心がけてください。
- ・万一の負傷に備え健康保険証を持参することをお奨めします。
- ・常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は慎まなければなりません。
- ・アルコールや薬物などを使用したの走行は禁止されています。
- ・装飾品(ネックレス、ピアス、指輪など)は外して走行してください。
- ・走行中にコース上(グリーン、グラベルも含まれます)で車両の修理を行うことは非常に危険です。車両は安全な場所に停止させ、ガードレールやタイヤバリアの外側で回収車両が到着するまで待機してください。
- ・ガードレールなどの外側で待機中もヘルメットは装着しておいてください。
- ・追い越し、追い越されのマナーを守ってください。

》モータースポーツゲートのオープン時間

- ・モータースポーツゲートのオープン時間は6:00~20:30です。(鈴鹿サーキット休業時と終夜オープン時を除く)ゲートオープン時間以外のパドックエリア滞在はできません。
- ・ピットエリア、パドックエリアにて車中泊をされている場合、ご退出をお願いすることになります。

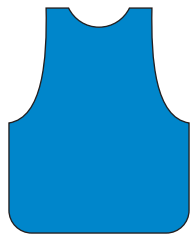
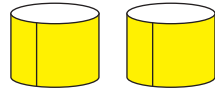
》》2輪スポーツ走行時のビブス着用ルール

- ・走行当日、精算所にて貸し出しおよび返却を行います。
- ・速度差が大きくなる可能性があるため、追い越し時は通常以上に安全空間を確保してください。



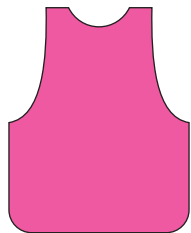
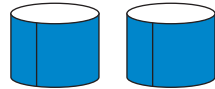
■ 黄色

- ・サーキット走行初心者または慣らし運転をする場合に着用。
- ・走行ラインは進行方向右端限定。
- ・エアバッグ装着の場合は腕章を両腕に着用。



■ 青

- ・レコードライン走行初心者または他の車両よりも走行ペースが遅くなる場合に着用。
- ・レコードラインを走行可能。
- ・エアバッグ装着の場合は腕章を両腕に着用。
- ・2B①、2S①のグループでは使用できません。
- ・FROC、エキスパートでは使用できません。



■ ピンク

- ・身体にハンディキャップを持つライダーが着用。
- ・このビブスのみ着用は任意。
- ・走行に関する制限なし。

改訂記録)

2023.10 一部改訂
2023.4 一部改訂
2022.4 一部改訂
2021.4 一部改訂
2020.4 一部改訂
2019.4 一部改訂
2018.7 一部改訂
2017.4 一部改訂
2016.4 一部改訂
2015.4 一部改訂
2014.4 一部改訂
2012.7 一部改訂
2012.3 一部改訂
2011.3 改訂版発行